



平成 28 年 8 月 9 日

各位

上場会社名 D I C 株式会社
代表者 代表取締役社長執行役員 中西 義之
(コード番号 4631)
問合せ先責任者 コーポレートコミュニケーション部長 江頭 淳
(TEL 03-6733-3033)

平成 28 年 12 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異
及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 13 日に公表した平成 28 年 12 月期第 2 四半期累計期間（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）の連結業績予想と実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせします。また、最近の業績動向を踏まえ、同じく平成 28 年 5 月 13 日に公表した通期（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

記

1. 平成 28 年 12 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績値の差異
(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1 株当たり 四半期純利益 |
|---|---------|--------|--------|--------------------------|------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 380,000 | 25,000 | 23,000 | 11,000 | 116.02 |
| 実績 (B) | 377,695 | 26,072 | 26,690 | 16,969 | 178.98 |
| 増減額 (B-A) | △2,305 | 1,072 | 3,690 | 5,969 | |
| 増減率 (%) | △0.6 | 4.3 | 16.0 | 54.3 | |
| (ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 12 月期第 2 四半期) | 409,620 | 22,570 | 21,831 | 15,285 | 158.90 |

※当社は、平成 28 年 7 月 1 日を効力発生日として普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しました。これに伴い、1 株当たり四半期純利益は前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しています。株式併合を考慮しない場合の 1 株当たり四半期純利益はそれぞれ、前回発表予想：11.60 円、前期第 2 四半期実績：15.89 円です。



2. 平成28年12月期通期連結業績予想の修正

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|---------------------------|---------|--------|--------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 800,000 | 54,000 | 50,000 | 25,000 | 263.69 |
| 今回修正予想 (B) | 780,000 | 54,000 | 52,000 | 30,000 | 316.43 |
| 増減額 (B-A) | △20,000 | 0 | 2,000 | 5,000 | |
| 増減率 (%) | △2.5 | 0.0 | 4.0 | 20.0 | |
| (ご参考) 前期実績 (平成27年12月期) | 819,999 | 51,068 | 48,995 | 37,394 | 389.40 |

※前期実績の1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しています。株式併合を考慮しない場合の前年実績の1株当たり当期純利益は38.94円です。

3. 差異及び修正の理由

(1) 業績予想と実績値との差異の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高は、円高による為替換算の影響及び製品値下げにより業績予想を下回りました。

営業利益は、高付加価値品の成長やコストダウンなどにより、経常利益は、借入利率の低下による支払利息の減少や持分法による投資利益の増加により業績予想を上回りました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失が前回予想より減少したことから大幅な増益となりました。

(2) 通期の業績予想の修正理由

前回予想に比べ、売上高は円高進行の更なる影響が見込まれます。一方、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、当第2四半期連結累計期間の業績結果を踏まえて、前回予想を上回ることが見込まれるため予想を修正します。

以 上